

## (5) 田植え体験学習

- 1 日 時 5月17日（火） 9：00～10：30
- 2 活動場所 学校近くの田
- 3 活動内容 田植え体験
- 4 協力者名 講師： （3名）
- 5 活動の様子

5年生が行っている「米作りの学習」は、毎年、学校のネイチャーパークにある、約1. 5m四方の田に苗を植え、生長を観察したり、育った稲を収穫したりしながら、学習を進めている。今年度は、地域住民の松井様のご厚意により、学校近くにある田をお借りすることができた。広々とした田の一角で、子供たちはのびのびと田植えをすることができた。松井様には、代かきや畔づくり等、田植えができるようにあらかじめ準備していただいた。

当日は曇り空で暑くもなく、絶好の田植え日和であった。はじめの会で、講師の先生を紹介し、お話を伺った。藤嶋様から、今日植える苗は、「ミネアサヒ」と言って、主に足助や下山、小原で作られており、この地は寒暖の差が大きいため、おいしいお米になること。また、市場に出回る量が少ないため、幻のお米と言われていること等、お米の話をしていただいた。また、お話の途中で鴨が2羽、田の入ったため、鴨の話もしていただいた。清水様からは、田植えをした後は水の管理がとても大切で、これを怠ると稲の生育が悪くなってしまう、との助言をしていただいた。松井様からは、田にはてある水は、この下に流れる白山川からひいていることや、田の周りには田の土で固めた畔があること等を話していただいた。



この後、藤嶋様から、田植えの仕方について、子供たちに説明していただいた。苗は4, 5本根元を持ち、田にしっかりと植えることや、田には裸足で入り、転ばないようにゆっくり進むこと等、安全面にも触れていただいた。田は、事前に長い紐が引いていたりおり、その紐に赤い目印が等間隔でついているため、目盛りに沿って植えていけばよいことも教えていただいた。

子供たちは苗の束をもって、並んで田に入り、藤嶋様の事前の説明のように、目盛りに沿って苗を植え、一列目が植え終わると、植えた苗を踏まないようにまたぎ、二列目へ移動した。このようにして、3列目、4列目と次々に苗を植えていった。転ばないようにぬかるんだ足元に気を配りながら、楽しく植えることができた。田植えが終わった後、田の

周りにある水路で足を洗ったが、この水路も、事前に水が流れるように松井様に準備していただいたものである。



講師の皆様に、何から何まで準備していただいたおかげで、子供たちは田植え体験学習をスムーズに行うことができた。今日の体験をきっかけに、子供たちは地域の米作りについて考えることができたと思う。今後、苗の成長を観察しながら、社会科の学習と関連付けながら、稻刈り、脱穀、精米と、稻作の学習をしていく。